



新開発！曇りにくいレンズ

メンテナンスの簡略化に成功!!

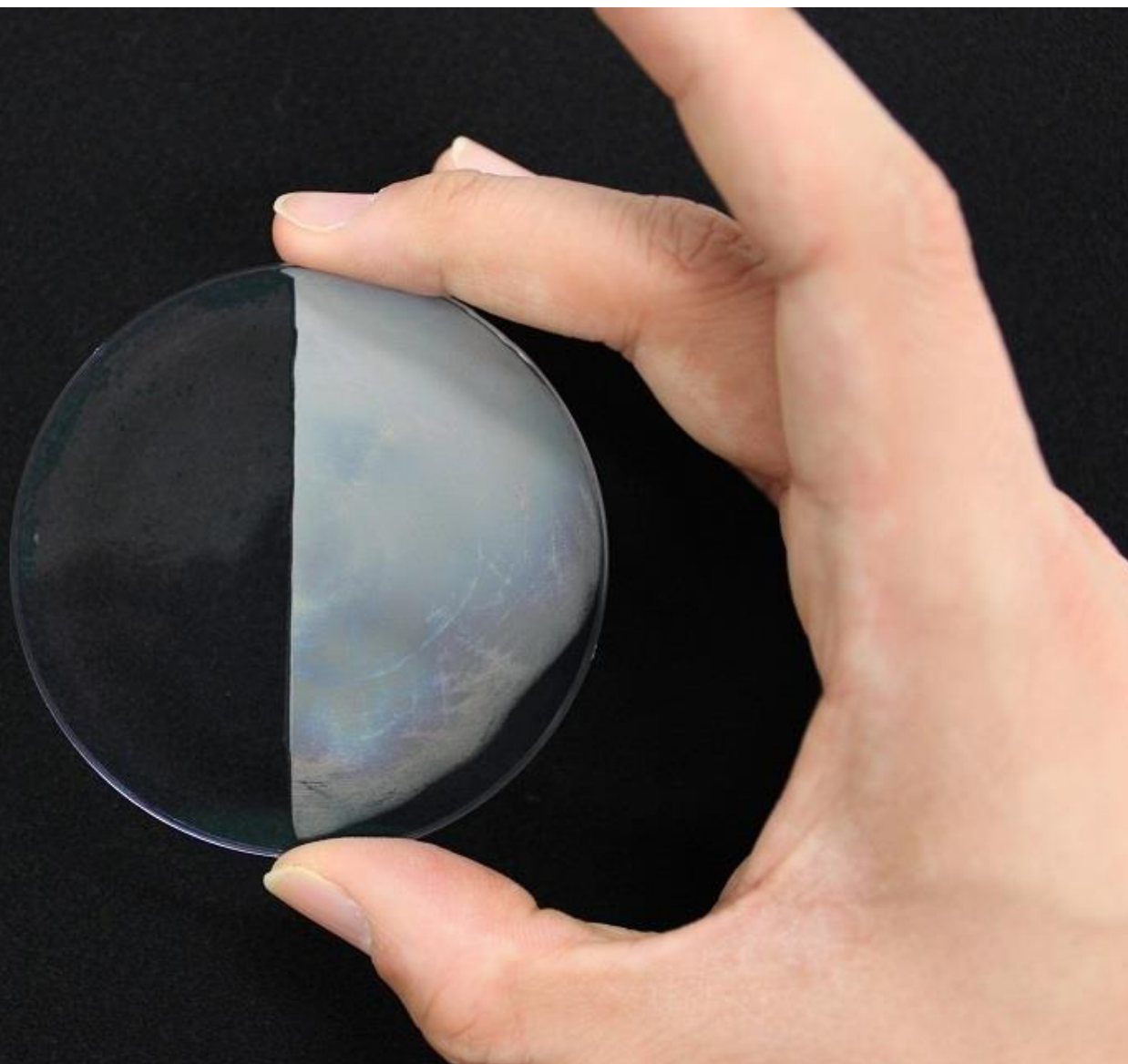
アメイジングコート



伊藤光学工業株式会社

## ご案内

1. コンセプト
2. お手入れ方法
3. 効果
4. 注意事項



# 1. コンセプト

## もっと手軽に、曇らない視界を

### (1) 曇りにくいレンズを

日本の四季は世界的に見ても気温や湿度の差が激しく、レンズにとっては過酷な環境と言えます。その季節の中で、建物や電車等への出入りや、風邪の予防や花粉症対策でマスクを着用した時にメガネが曇ったりします。メガネ愛用者の方にもっと手軽で快適な視界を提供したいと思い、開発に至りました。

### (2) お手入れをラクに

現在市販されている防曇関連グッズは液体処理系が主流でレンズ面に液を塗り曇りにくくするという仕組み。その方法が『意外と手間なんだよね…。』と、よく耳にします。しかし普通のメガネでも“汚れたら拭く”という作業は必須です。

それならば、“汚れたら拭く”ついでに曇らないようには出来ないか…という発想からワンステップメンテナンスのアメイジングコートは誕生しました。



## 2. お手入れ方法

### 【通常時】

- ①軽い汚れはレンズ面に息を吹きかけながら、通常のメガネ拭きで拭いてください。
- ②ひどい汚れは水洗いをしてから通常のメガネ拭きで拭いてください。

### 【防曇効果が薄れてきた時】

- ①レンズ面に息を吹きかけながら、付属の「防曇レンズ専用メガネ拭き」で拭いてください。
- ②上記方法で防曇効果が戻らない場合は、水洗いをし水分を軽く拭き取り、通常のメガネ拭きで拭いた後に「防曇レンズ専用メガネ拭き」できれいに拭き上げてください。

◆レンズを濡れたまま放置すると、水ヤケやシミの原因になります。  
油脂成分が付着したまま放置すると、汚れが落ちにくくなります。

水分や油脂汚れが付着した場合は、出来るだけ早く拭き取ってください。



### 3. 効果

アメイジングコートは今までにない特殊なコーティングを施しています。「防曇レンズ専用メガネ拭き」でお手入れすることで、防曇効果を持続させることができます。

#### ～曇りのメカニズム～

レンズの曇りは、レンズの温度と気温、湿度の関係により発生します。

例えば、こんなシーンでメガネが曇ります。

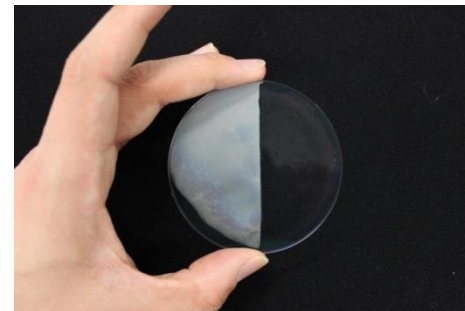
- ①寒さの厳しい冬、外気にさらされた後に通勤ラッシュの満員電車へ…
- ②風邪の予防や花粉症対策でマスクをしていると…
- ③熱いラーメンや鍋料理などを食べている時…
- ④梅雨時期や雨上がりの真夏、クーラーを効かせた部屋から屋外へ出ると…



メガネが曇る状況は、季節を問わず色々なシーンで起こります。

アメイジングコートは従来の撥水マルチコートとは逆の発想で、水滴を弾くのではなくレンズ面に水滴を馴染ませる特殊コーティングです。

右の写真は、アメイジングコートと通常のマルチコートを半分ずつ処理したサンプルレンズを、加湿器の蒸気に当てた時の状態を撮影したものです。



※前述したお手入れ方法を行うことで、この効果が得られます。

## 注意事項

### 【アメイジングコートレンズ】

当レンズは「曇りにくいレンズ」で「曇らないレンズ」ではありません。  
下記のような場合はレンズが曇ることがあります。

- ①レンズ面に汚れ等が付着した場合。
- ②極端な温度や湿度変化があった場合。
- ③多湿の環境下で長時間使用した場合。

マスクをした時など、鼻息が上がりレンズ面に蒸気が付着し、視界がにじんで見える事があります。これは曇ると言うより水分が留まり、視界に支障を来す状態なので、速やかに水分を拭き取ってください。氷点下ではレンズ表面の水滴が凍り、曇ったような状態になることもあります。

### 【専用メガネ拭き】

「防曇レンズ専用メガネ拭き」は洗濯や水洗いはしないでください。メンテナンス時の水分付着程度は問題ありません。

初回はレンズ1組に1枚同封致します。  
その後は購入店にてお買い求めください。

〔含侵成分〕界面活性剤、アルコール

